

別添資料 講師プレゼンテーション資料

- 第 1 回ワークショップ(1 月 30 日・東京)
「人道支援の説明責任、品質管理、およびスフィア最低基準に関するオリエンテーション」
- ジェイミー・ムン、ウマ・ナラヤナン / チャーチ・ワールド・サービス 51

- 第 2 回ワークショップ(2 月 11 日・東京)
「改訂版スフィア・スタンダードと東日本大震災～保健の対応を中心に～」
- 中村安秀 / 大阪大学大学院人間科学研究科国際協力学教授 59

- 第 3 回ワークショップ(2 月 25 日・東京)
「災害支援団体が守るべき支援の国際基準を学ぶ」
- 川原田舞 / ワールド・ビジョン・ジャパン 63
- ブライアン・バーバー (Brian Barbour) / 難民支援協会 68

- 公開シンポジウム(1 月 31 日・東京)
「東日本大震災と人道支援の国際基準～援助の中で周辺化されがちな視点を中心に～」
- ジェイミー・ムン、ウマ・ナラヤナン / チャーチ・ワールド・サービス 73
- 草野祐子 / みやぎジョネット 76
- 甲斐田万智子 / ワールド・ビジョン・ジャパン 79

HAP Humanitarian Accountability Partnership

The Sphere Project

人道支援の説明責任、 品質管理、 およびスフィア最低基準に 関するオリエンテーション

Orientation on Quality & Accountability
9th February 2012
Miyagi - Japan

CHURCH WORLD SERVICE Asia Pacific

AS PROPOSED BY THE PROJECT SPONSOR

AS SPECIFIED IN THE PROJECT REQUEST

AS DESIGNED BY THE SENIOR ANALYST

AS PRODUCED BY THE

CHURCH WORLD SERVICE Asia Pacific

概略

1. 説明責任(アカウンタビリティ)とは何か？
2. ヒューマニタリアン・アカウンタビリティ・パートナーシップ(HAP)インターナショナル。
3. 「HAP基準2010」のような国際基準が存在するはなぜか？
4. 「HAP年基準2010」を具体的用語で説明せよ。

CHURCH WORLD SERVICE Asia Pacific

演習

- 1)この映画の中で、権力を持っている人をすべて挙げよ。彼らの決定は社会的弱者にどのような影響を及ぼすか？
- 2)この映画の中で、彼らの行動が原因となり、組織とそのスタッフに与えそうな結果は何か？
- 3)その状況を改善するため、組織はどのような方策を取るべきか？

CHURCH WORLD SERVICE Asia Pacific

人道支援の説明責任とは

影響を受ける人々

...の説明責任を受け、
...に対して説明責任を行い、
...による説明責任を負わされる。

責任を持った権力の行使

CHURCH WORLD SERVICE Asia Pacific

ヒューマニタリアン・アカウンタビリティ・パートナーシップ(HAP)

説明責任のHAP定義

「説明責任とは、権力が責任を持って行使されるようにする手段である。」(HAP)

- 説明責任とは発言権および回答の義務に関することである。
- 説明責任のある組織は生産品やサービスの品質を管理し、得意先、顧客、影響を受ける人々の利益になるよう、生産品やサービスを絶えず改善するよう努める。

CHURCH WORLD SERVICE Asia Pacific

品質とは

- 目的にかなった生産品またはサービス



ヒューマニタリアン・アカウンタビリティ・パートナーシップ(HAP)

HAPは2003年に創設され、被災者に対し説明責任を果たせるような人道支援に取り組む責務を負う団体の加盟組織である。

目的

- 説明責任の更なる推進
- 能力開発を通じ、加盟団体を支援
- 説明責任の原則を設定
- 検定により、加盟団体のコンプライアンスをモニタリング・認定
- 加盟団体に対するクレーム処理



HAPは会員制の組織である



HAP加盟団体の一部

<http://hapinternational.org/members.aspx>

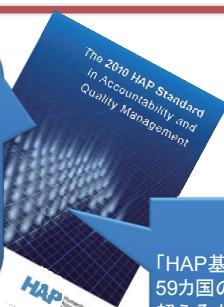


コンプライアンス測定への挑戦



詳細な協議による開発

初期の「HAP基準2007」は、25カ国の5000名を超える人、96団体との協議を通して開発。スリランカ、セネガル、ソマリアでは、実地試験を遂行。



「HAP基準2010」は、59カ国の1900名を超える人が関与。



コンプライアンス測定への挑戦

基準となるもの

1. 公約の遂行
2. 職員の能力
3. 情報の共有
4. 参加
5. クレームの処理
6. 学習と継続した開発



協議による開発

HAP基準は、
現実的・支援的
だが負担にな
らないよう設計
されている。



討論

- 各チーム、
3分間の討論
- 1分間の反論



情報の共有

- HAPは、支援対象者お
よびその他のステークホ
ルダーがHAPとその活動
について、タイムリーかつ
適切で、明確な情報を得
られるようにする。



参加

- HAPは支援対象者
の話をよく聞き、彼ら
が定期的にフィード
バックを行い、それ
ぞれの段階でプログ
ラム決定に影響を与
えたり、決定に参加
できるようにする。



クレームの処理

HAPは、支援対象者や
他のステークホルダー
がクレームを申し立てる
こと、そして効率的で利
用しやすく、安全なプロ
セスを経て回答を得られ
るようにする。



組織の公約

- なぜ公約を掲げるのか？
- あなたの団体の国際公
約、説明責任の公約は何
か？
- 公約はあなたの日常生
活にどのような影響を及
ぼしているか？





スフィアとは何か？ そして なぜ重要か？

Orientation on Quality & Accountability
9th February 2012
Miyagi - Japan



活動の概略

- スフィアとは何か？
- なぜ重要か？
- スフィア・ハンドブックとは何か？
- スフィア・ハンドブックはどのように使うのか？




人道主義に関する歴史的イベント

1859年	1919年	1945年	1948-9年	1951年	1976年	1984年	1994年
ソルフェリーノの戦い	第一次世界大戦	第二次世界大戦					
赤十字社		国連憲章 ケア・インター ナショナル オックスファム 国際赤十字		難民条約・国連難民 高等弁務官	国際人権法 の批准	エチオピア饑饉	ルワンダ大量殺戮 赤十字・赤新月社の 行動規範
	セーブ・ザ・チルドレン 国際連盟		ジュネーブ条約 世界人権宣言				



スフィアとは何か？

- 1997年、人道支援のNGO、赤十字社、新赤月社のグループが、災害支援活動の質を向上させ、自らに対し説明責任を担うことを目的にする。
- スフィア・ハンドブックは、どのような活動が人道的と考えられるのかの達成目標を明確にしている。
- 人道支援とは、災害や紛争の影響を受けた人々の基本的人権に関すること、と定義している。



スフィアの核となる信念は何か？

1. 災害や紛争の影響を受けた人は尊厳を持って生きる権利があり、よって支援を受ける権利もある。
2. 災害や紛争がもたらした苦しみを癒すために、あらゆる手段が講じられなければならない。




原則に基づいたスフィアは何か？

人道憲章は、人道および人道上の緊急事態の原則に基づいた、倫理および法的背景を規定している。これには下記が含まれる。

- 尊厳を持って生きる権利
- 人道支援を受ける権利
- 保護と安全を享受する権利



スフィアは説明責任をどう解釈しているか？

- ハンドブックは品質と説明責任のための任意規約であり、自主規制の方法である。
- スフィアを守っても、すべての基準や指標を満たすわけではない。
- 影響を受ける地域に対する説明責任。

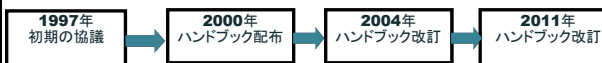


なぜスフィア基準は必要か？

- 質疑応答に対するNGOの懸念は継続中
- 歴史的経験はもはや不十分
- 災害の複雑化の増加
- 災害件数の増加
- 人道支援コミュニティの質の変化
- 多様性の増加
- アクター(関与する人)の増加
- 成功への様々な手段
- 「ルワンダ評価1994年」以降



広範囲の協議

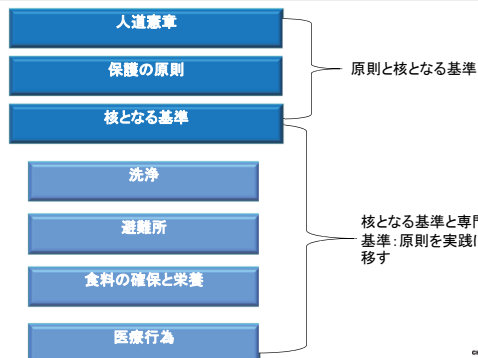


2011年版スフィア・ハンドブック

- 2年半に及ぶ協議
- 300団体
- 650名の専門家
- 200カ国



2011年版スフィア・ハンドブックの構造



最低基準とは何か？

人道支援においては
最低基準のサービスが保たれるべき

各水準は、被災者は尊厳のある生活を営む権利がある
という原理に基づいて決められている。

すべての基準は、質的かつ絶対的である。



避難場所と定住基準 4:建設

262頁



地域の安全な建築業務、材料、専門技術、能力が適切な所で使われ、影響を受ける人々の関与と地域住民の生計手段の機会を最大化する。



解決の鍵となる活動は何か？

最低基準を満たすために取るべき活動

鍵となる活動とは、人道支援に携わる人が与えられた状況でなければいけないこと。

人道支援に携わる人は、適切な活動を選び、基準を満たした代替りの活動を考案しなければならない。



解決の鍵となる活動

97頁

- 影響を受ける人々、地域の建築専門家、関係当局に声をかけて、地域住民の生計の機会を最大化するような、安全で適切な建築業務、材料、専門技術を用いることに賛同してもらう。
- 建築・材料の適切な仕様を通して、構造上のリスクや脆弱さを最小化する。
- 地域で調達できる道具や資源を使い、各世帯の避難場所を整備・改善できるようにする。



解決の鍵となる指標は何か？

基準が満たされたかどうかを示す合図

この合図は、プログラムの影響や結果、および使われたプロセスや手段を測定・伝達する方法を教える。

この指標は質的または量的なものであり、状況判断が必要な場合もある。



解決の鍵となる指標

97頁

- すべての建設は、合意を得た安全建築業務と基準に沿って進められる。
- 建設活動が、影響を受ける人々の関与と、地域住民の生計手段となる機会を最大化することを立証する。



ガイダンスの注釈とは何か？

状況に応じて、私たちが指標を適切に使うことを助ける情報

鍵となる活動や指標への到達を目標にしているとき、考慮に入れるべき状況ごとの論点を含む。

窮地、論争、および、あるいは現在持っている知識とのギャップを指す。



ガイドランスの注釈

97頁



1. 影響を受ける人々の参加
2. 専門知識と経験
3. 材料と労働力の調達
4. 災害予防とリスク削減
5. 安全な公共建築物の設計・建設



基準を満たせない場合は...

人道支援団体が行うべきことは

- スフィア指標と実際の指標とのギャップを報告書に記す。
- ギャップが起きた理由と何を变えるべきかを説明する。
- 影響を受ける人々への波及する意味を査定する。
- その意味が引き起こす損害を最小化するため、適切な緩和行動をとる。



適用と機会

査定と分析

- 査定計画
- 参加
- 問題の分析
- ギャップの分析

計画と実行

- 資源の経済的活用
- 調整
- 地域のニーズへの適用
- 参加
- 能力開発

モニタリングと評価

- 業務の測定
- 作業の改善
- 参加

アドボカシー

- 啓発
- 資源を求める根拠

災害リスクの削減

- 支援の事前配置
- 能力開発



スフィア事務所と焦点を絞った活動

- 業務を支えるためにスフィアを実行している地方・全国のネットワークと積極的に連携する。
- NGO、国連機関、ドナー、大学教員、およびその他の質疑応答のイニシアチブ等の重要なステークホルダーに、スフィアの説明をする。
- スフィアの効果的な利用を積極的に推進する。
- スフィアのウェブサイトを通して資源を提供する。
- 高品質のスフィア材料とスフィア研修への支援。

運営と財源

スフィアは、国際NGO、NGO、国際赤十字赤新月社連盟(IFRC)、国際ボランティア団体評議会(ICVA)等の提携・傘下グループの代表者で構成される理事会が運営している。

財源は理事と下記から来ている。

- オーストラリア
- 欧州人道支援事務所 (ECHO) *
- ドイツ
- スペイン
- スイス
- 英国
- 米国



www.sphereproject.org

- ・ 数カ国語に訳されたハンドブック
- ・ 研修教材と進行役案内
- ・ ケース・スタディ
- ・ 年報
- ・ ニュースレター
- ・ ビデオ素材

スフィアはフェイスブックと
ツイッターにも参加。



懸念事項

- ドナーによる誤用の可能性
- 一般化された貧困の課題
- 受け入れ側との関係
- 「普遍性」対「文化の特有性」
- まず....に資源とアクセスが必要

ご清聴、ありがとうございます。

